

成人看護学

《科目》

成人看護目的・対象論/成人の健康と生活を支える看護/周手術期の看護/健康障害との共存を支える看護/セルフケアを支える看護/終末期にある対象の看護/成人看護学演習

授業の紹介

成人看護学は、一言で表現すると『大人』が対象の看護学です。

『大人』への準備期間とも言える10代後半の青年期から、成熟した『大人』の成人期、壮年期、向老期と、人の成長発達のなかで一番長い期間の方が対象となる特徴があります。この時期の方は、身体的、精神的、社会的にも大きく成長していきます。その反面、徐々に年齢を重ね、体力や機能低下していく身体面の衰えや健康問題も自覚しながら生活しています。

さまざまな健康問題を予防し、より健やかに生活していくことができるように支援していくのが成人看護学です。

授業は—

健康と生活を支えるという視点だけでなく、さまざまな健康問題や病気について、たとえば、手術を受ける患者さま、慢性的な病気を抱える患者さま、人生の終末を迎える患者さまなどさまざまな患者さまにどのような看護が大切なのかを学びます。

手術を受ける患者さまの事例（紙上患者）を通して、実習をイメージしながら演習する授業もあります。



写真は授業の様子です。
手術後の患者さま（学生模擬患者）に食事指導をしています。59歳男性、胃がん、胃部分切除の手術を受けたという設定です。

学生のコメント

- 病院で実際に近い演習を行うことで実践力を身につけます。
- 術後の患者さまの勉強ができ、イメージをつけてから実習に臨めるので、自信が持てるようになります。
- 患者さまにどのように指導した方がいいのかを考えて、計画・実践しました。難しかったです。
- グループ毎にそれぞれが考えた計画に沿って指導します。パンフレットなども使用してわかりやすい指導を目指しました！
- 校内実習では、先生が明るく親身になって指導して下さいます。学生もさまざまな疑問や問題意識を持ってとても熱心に取り組んでいます。
- 実習のイメージがわく授業です！（^0^）
- 演習の授業で、病棟や患者さまのイメージがつくと、実習への不安も軽減して自信もつきます。